

令和7年度社会福祉法人誠心会事業計画

1. 経営理念

社会福祉法人誠心会は、福祉事業を通じて「お互いが思いやり、助け合いながら生きていくことができる、ぬくもりのある地域社会の実現」に向けて、誠心誠意尽くします。

2. 基本方針

(1) 利用者第一のサービス（利用者）

利用者を第一に考え、安心して快適な生活が送ることができるサービスを提供します。

(2) 生き生きとした職場（職員）

明るく、生き生きと安心して働き続けられる職場環境を創ります。

(3) 健全経営の取り組み（経営）

経営の効率化、業務改善を図り強固な財政基盤を確立して持続可能な法人を目指します。

(4) 地域社会との協働（地域社会）

地域社会と連携・協働により、共に生きる地域社会の実現を図ります。

【 職員の行動規範 】

- (1) 心のこもった挨拶
- (2) 元気で明るい笑顔
- (3) やさしく思いやりのある言葉
- (4) すなおで機敏な行動
- (5) 清潔な身だしなみ

【 誓いの言葉 】

私たちは、社会福祉法人誠心会の一員として常に慈愛の心を持ち、自ら進んで行動し、感謝の気持ちを忘れずに笑顔で人に接することを誓います。

3. 誠心会が目指すビジョン [平成22年策定の中長期経営プラン から]

「 葛巻における誠心会ならではの、かけがえのない 値打ち(満足) 」

(1) 利用者を満足させる事業展開（顧客の満足）

少子高齢化が急速に進む中で、高齢者福祉サービスの提供者として、利用者第一の考え方を基本に、利用者が満足するサービス提供を目指します。

(2) 活気ある組織づくり（職員の満足）

豊かな人間性と活気ある組織を育てます。人の絆を大切にしながら、お互いが助け合い、課題の改善や専門職としての意識を高めるための教育や研修に取り組み、いつまでもやりがいや働きがいを持てるような組織を目指します。

(3) 健全な財政基盤の確立（経営の満足）

措置から利用者契約制度への移行と民間参入の時代を迎え、今後共に生き残るためには、健全な財政基盤を築きながら継続した社会貢献事業ができるよう目指します。

(4) 地域支援、地域密着サービスの提供（地域社会の満足）

全ての人が安心して暮らすことができる地域社会の実現のため、「地域との協働」の姿勢を維持し、多くの地域住民と手を取り合いながら様々な事業を展開し、地域社会で信頼され、選ばれた法人を目指します。また、温かい心を大切に、懇切丁寧に、お互いが支え合って生きていくことができる地域福祉の実現を目指します。

4. 令和7年度の重点目標

(1) 利用者第一の介護サービス

- ① 災害や感染症が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制の基盤強化を図ります。災害対策及び新型コロナウイルス感染症感染対策の経験を踏まえ、業務継続計画を現状と実践に即したものに見直します。
- ② 協力医療機関と連携し、看取り介護に取り組み、利用者の自己決定と選択を尊重し、個人の尊厳が守られるよう、職員への倫理教育の充実を図るとともに虐待防止や身体拘束の適正化、成年後見制度等に関する研修を実施します。

(2) 生き生きとした職場づくり

- ① 賃金の大幅上昇が続く中、介護保険報酬の加算制度を最大限活用するなど、職員の処遇改善に引き続き取り組み、働きやすくやりがいのある職場づくりを進め、離職の防止や外国人材の活用も含め新規の人材確保につなげていきます。
- ② 職員が自らの将来像を描け、自己実現、キャリアアップできる仕組みづくりを図ります。キャリアパス（昇任・昇格基準、求められる技術基準）制度の充実を図っていきます

(3) 健全経営の取り組み

- ① 法人経営は、利用者の減少、新型コロナウイルス感染症対策に伴う減収及び物価高騰による費用増による減収減益が継続している状況です。各施設及び事業の課題の把握・分析を進め、運営の見直しを図ります。
- ② 外国人介護人材の活用を引き続き進め、介護人材の安定的な確保を推進します。このことにより、安定した施設運営を目指します。併せて、現在就労する外国人材への介護技術及び日本語の指導・教育の過程における相乗効果により、外国人材と共に職員の資質向上を図ります。
- ③ コンプライアンス(法令遵守)の徹底、ガバナンス(組織統治)の確立に努め、健全な財務規律の確立を図ります。

(4) 地域社会との協働

- ① 地域の身近なパートナーとして、地域住民が暮らしやすい社会への一躍を担うため、法人が有する資源・機能を活用し地域公益活動を展開します。高齢者や障害者の積極的な雇用を通じ、多様な人材が活躍できる地域共生社会の基盤づくりに貢献します。

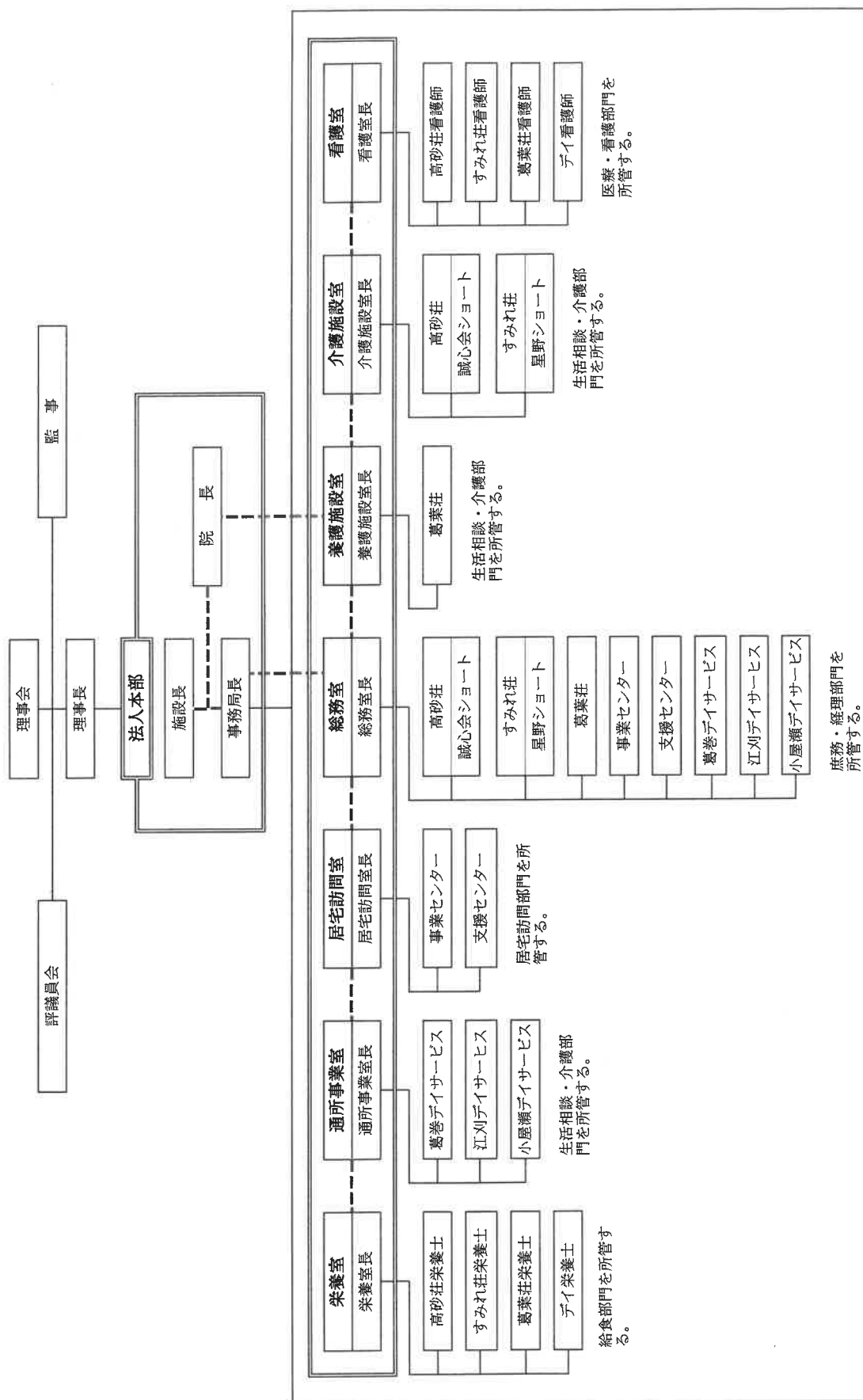
(5) 各室の重点目標の達成

- ① 各室ごとの重点目標を達成するため、定期的に進捗状況を確認し、目標の達成につなげていきます。

5 法人本部事業計画

内 容					
月	理事会	評議員会	監事監査	事務処理体制支援	摘要
4					
5			決算	決算	
6	第7回（決算） 第1回	定時（決算）			
7					誠心会夏祭り
8			第1四半期分	第1四半期分	葛葉荘盆踊り
9					敬老会
10	第2回				
11			第2四半期分	第2四半期分	
12					
1					
2			第3四半期分	第3四半期分	
3	第3回（予算）				

6. 誠心会組織図



(1) 総務室

〈事業目標〉		
・ 持続可能な活力ある経営を目指すため、財務状況の把握・分析や保有資産の有効活用など、コスト意識をもった財務・資産の適正管理を行います。 ・ 人材の確保と育成、定着を図るために方策の検討を行います。		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
1 経営基盤の確立 継続経営を行うため、効率的・効果的な経営の基盤整備を図ります。	① 適正な財務諸表を作成し、事業活動の結果を正確に把握し健全経営を行います。 ② 財務諸表のデータを活用し、経営指標を分析することにより具体的な問題点や課題を抽出し改善策を検討したうえで、計画的に改善活動を行います。 ③ 業務を効率的に行うため、ビジネスWebを更に活用し業務改善を行います。 ④ 介護報酬の各種加算や補助金等に関して新たに算定できる項目がないか精査します。	強 化 継 続 強 化 新 規
2 人材の確保・育成 社会福祉法人は地域福祉の重要な担い手であり介護の仕事の社会的価値と魅力を積極的に発信し、介護の専門性や人間力の向上に積極的に取り組むことで人材の確保と育成を行います。	① 良質な人材確保のために、誠心会のホームページが今よりも目に留まりやすく、広く閲覧してもらえる内容の掲載ができるよう既存ホームページの見直しを行います。 ② 高校・専門学校に加え大学などにも積極的に求人活動を行い人材の確保につなげます。 ③ 有資格者などの人材確保のため情報求人サイトの活用を図ります。	強 化 強 化 継 続
3 人材の定着 職員が安心して働き続けられるよう、公正な人事・給与や働きやすい職場づくりに努め人材の定着を図ります。	① 業務内容に応じた多様な雇用形態について検討し、仕事だけではなくプライベートな生活も充実させる働き方を実現することにより、労働定着率を向上させます。	継 続
4 危機管理対策の強化 自然災害や感染症の流行など予期せぬ事態が発生した場合でも必要な介護サービスを継続的に提供できる体制の構築を行います。	① 今ある備えが災害の種類に対応できているのか再度検証し、生命の安全確保と物理的被害の軽減に努め経営資源を守ります。 ② 自然災害や感染症によって介護サービスが中断しないよう業務継続計画の見直しを行います。	継 続 継 続

(2)介護施設室

〈事業目標〉		
・利用者それぞれに寄り添い、安心・安全に施設生活が送れるよう心のこもったサービスを提供し、家族及び関係機関との連携を強化し信頼関係の構築を図ります。 ・専門職としての役割を常に自覚し、知識と技術の向上を目指します。		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
【高砂荘】（生活相談） 1 利用者の思いに寄り添い、その人らしい生活が送れるよう個別支援を行います。	① 季節を感じてもらえるような行事計画を企画し、楽しみのある生活の場の提供を行います。 （年間計画の工夫）	強 化
2 家族とのコミュニケーションを図ると共に、地域とも連携し貢献活動を行います。	① 利用者アンケートを実施し、利用者・家族の意見を反映した業務改善を行います。（11月） ② 中間的就労支援、安心サポート相談員の地域貢献活動を行います。（随時）	継 続 継 続
3 職員個々が自己研鑽に努め、介護の質の向上を図ります。	① 内部研修会を開催します。（定期開催：リスクマネジメント委員会、身体拘束適正化委員会、虐待防止委員会、プライバシーに関する事 各2回） ② 各部会で研修会を開催します。 （課題や希望する内容の確認） ③ 安心・安全な生活の確保のためにBCP（災害時・感染症）の確認及び見直し、研修会の開催をします。 ④ 特定技能職員の受け入れを経て、長期的指導計画及び生活支援計画の作成をし、職員の負担軽減と職員及び特定技能職員の定着を図ります。	継 続 継 続 継 続 強 化
【すみれ荘】（生活相談） 1 利用者、家族との信頼関係を深め、利用者が安心して意欲的に生活を送れるようサービス提供の向上を目指します。	① 家族への報告・連絡・相談を密にし、情報を共有することで家族の安心感を高めることにより信頼関係の構築を図ります。 ② 職員間、職種間での情報を共有し、連携して利用者への支援を行います。	強 化 継 続
2 運営推進会議を開催し、家族と地域との信頼関係の構築を図ります。	① 会議の定期開催。（年6回） ② 家族、地域、関係機関との情報交換の場として活用し、地域社会との連携を深めます。	継 続 継 続
（介護計画） 【高砂荘・すみれ荘共通】 1 利用者及び家族の意向がしっかりと反映され、利用者が施設の中でその人らしい生活を送ることができ、少しでも長く元気に暮らすことができるような計画の作成を行います。	① ご家族への定期的な利用者の状態報告や変化など見られた時にはタイムリーに家族へお伝えしていき利用者の状態が離れていても把握できるように情報提供していきます。また電話連絡や面会などの際にはご家族からの意向の聞き取りを行います。 ② 居室担当や他職種との意見交換や支援状況の確認及びサービス実施状況の評価を行い、解決すべき課題の把握に努め、適切なサービス計画の見直しを実施をします。 ③ ご本人、ご家族より看取りの意向をいただいた時には、医療機関との連携を図りながら、自分らしく穏やかな最期を迎えられるように支援を行います。	強 化 強 化 継 続

	④ 内部・外部研修、講習会への積極的な参加を通じて資質の向上を図ります。	継 続
【高砂荘】（介護一般）		
1 利用者の心身の状況や本人の意向を尊重し、健康で安心した生活ができるようを目指します。	① 楽しくいきいき過ごせるように余暇活動の充実を図ります。 ・生きがい活動の充実（1回/週） ・手作りおやつの実施（年2回）	強 化
	② 口腔ケアの充実を図り感染症や嚥下不良の予防を行います。 ・嚥下体操の実施（随時） ・口腔内の状態観察（夕食後）	継 続
	③ センサー使用による利用者の体調変化の早期発見と事故防止を図ります。	継 続
2 排泄介助の質の向上でケア全体の水準を高め快適な環境作りを図ります。	① スキンケアの充実を図ります。 ・排泄介助時、洗浄ボトルを使用した清潔保持と保湿確保の実施（1回/日） ・皮膚状態の確認（随時）	新 規
	② 適切な排泄物品の使用に向け検討します。 ・排泄ケアの介護技術研修の実施（2回/年） ・個別使用物品の見直し実施（1回/月）	新 規
	③ 個別の排便パターンを把握し、ケアの質向上を図ります。 ・排便日誌記録の整備 ・排便体操の実施	新 規
【すみれ荘】（介護一般）		
1 利用者が笑顔で、安全に安心して過ごせる環境を作り、利用者一人ひとりの生活の質の向上を目指します。	① 利用者に寄り添った接遇と余暇活動の充実を図ります。 ・笑顔体操の実施（4回/週） ・個別ケアの強化	新 規
	② 利用者個々の支援内容を確認・検討し、統一した支援の実施を図ります。（1回/月）	継 続
	③ 介護技術の向上のための研修会を開催します。（4回/年）	継 続

(3) 養護施設室

〈事業目標〉		
・ 社会福祉施設の専門職として、常に誠意をもって丁寧な接遇に努め、信頼関係を深めます。 ・ 入所者の人権と個人の尊厳に配慮しながら安心、安全な生活の場を提供し、その人らしい暮らしが送れるよう支援します。		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
(生活相談)		
1. 入所者がその人らしく生き生きとした生活が送れるよう、各職種との連携・調整を行い、満足いただけるサービスの提供を行います。	① 定期相談の実施と評価を行います。 (毎月1ユニット) ② 業務マニュアルの点検及び見直しを行います。 (毎月)	強 化 強 化
2. 危機管理の強化を図ると共に、事故を予防し、苦情や相談等への適切な対応を行うことにより、リスクマネジメント体制の構築を図ります。	① 苦情・相談等の傾聴を行います。 ② リスマネジメント体制の構築を図ります。 (事故等の分析・評価)	新 規 新 規
3. 入所者へのサービス向上のため、専門職として資質向上を図ります。	① 研修会・外部研修会の情報伝達を行います。 ② 内部研修会を実施します。 (6月・7月・10月・3月)	継 続 継 続
(支援一般)		
1. 入所者の健康状態を維持すると共に身体機能低下の予防を行います。	① 嚙下体操、作業療法を実施します。 (毎日)	継 続
2. 入所者の日常の生活意欲や、楽しみを見出す工夫をします。	① 季節感のある行事・クラブ活動の考案、実施を行います。(毎月) ② 音楽体操・下肢機能運動を実施します。 (週1回)	継 続 新 規
3. 入所者に寄り添い、安心と満足が得られる対応を行います。	① 傾聴・言葉かけを行い、個々の気持ちに寄り添った支援を行います。	強 化

(4) 通所事業室

〈事業目標〉		
高齢や疾病による身体機能の低下や認知症を抱え在宅で生活する利用者が、残存能力を活かし自立した生活が継続できるよう、関係機関や他職種と連携することで、状態の低下防止や家族介護負担の軽減を図るとともに、本人・家族の意向を反映した意欲的な生活ができる通所介護サービスの提供を目指します。		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
(生活相談)		
【共通】 利用者の残存能力を活かす個別援助計画作成のため、本人・家族の意向を反映し他職種との連携を行います。	① サービス担当者会議の参加により、利用者、家族の情報や意向を共有し、ケアプランに沿った他職種連携の個別援助計画の作成と見直しを行います。 ② 利用者アンケート実施・評価・分析を行います。	強 化 継 続
【葛巻デイ】 関係機関と連携して利用者ニーズに対応し、地域で暮らす利用者に必要とされる通所事業所を目指します。また、職員の資質向上を図ります。	① ケアマネ連絡会に参加し居宅支援事業所や関係機関との情報共有を図ります。 ② 利用者の要望に対応する個別援助計画の策定を行います。 ③ 外部研修や内部研修の計画と実施を行います。 ※実施方法は3デ이의合同研修とし、持ち回りで資料作成、日程調整、進行を行う。 ④ 事業所会議を開催（毎月）します。	強 化 強 化 強 化 強 化
【小屋瀬デイ】 関係機関及び事業所間の連携を密に行い、利用者個々のニーズに沿った支援を行います。	① 利用者の要望に対応した個別援助計画の策定を行います。 ② 事業所会議を開催（毎月）します。 ③ 外部研修や内部研修の計画と実施を行います。 ※実施方法は3デ이의合同研修とし、持ち回りで資料作成、日程調整、進行を行う。	強 化 強 化 強 化
【江刈デイ】 地域の意見を取り入れ、ニーズに即したサービスと憩いの場を提供します。	① 地域密着推進会議を開催します。（年2回） ② 地域の特色を反映した個別援助計画作成を行います。 ③ 家族がレスパイトや困りごとなどを伝えやすい関係・環境づくりを行います。 ④ 外部研修や内部研修の計画と実施を行います。 ※実施方法は3デ이의合同研修とし、持ち回りで資料作成、日程調整、進行を行う。	継 続 強 化 新 規 強 化

(介護) 【共通】 利用者の残存能力を生かすため、支援計画に沿った支援を行います。 資質の向上を目指し、安全で安心を与える介護の提供を行います。 【葛巻デイ】 利用者の状態に応じた援助を行い、意欲的な生活ができるよう支援します。また、個別機能訓練を行い心身機能の維持向上を図ります。 【江刈・小屋瀬デイ】 利用者の状態に応じた援助と機能訓練の要素を取り入れた趣味活動を行い、意欲的な生活ができるよう支援します。	① 個別援助計画に沿ったサービスの提供・評価を行います。 ② 認知症介護基礎研修の受講を行います。 ③ 介護技術研修会の実施（合同研修会）を行います。 ① 状態に適した援助と見守りの強化を図ります。 ② 個別機能訓練の実施と強化を行います。 ③ 季節感のある行事の考案、実施を行います。 ① 状態に適した援助と見守りの強化を図ります。 ② 機能訓練の要素を取り入れた趣味活動の実施を行います。 ③ 季節感のある行事の考案、実施を行います。	継 続 継 続 継 続 継 続 継 続 新 規 継 続 継 続 継 続
---	--	--

(5)看護室

〈事業目標〉		
・利用者が安心・安全に過ごせるよう意向を尊重し、施設生活が継続できる看護を提供します。 ・利用者の重度化や認知症に多様化するニーズや医療的援助等を各職、関係機関と連携し身体機能維持を図ります。		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
(看護) 【高砂荘】 認知症の進行や重度化する利用者や看取りを希望される利用者が穏やかに安心して施設生活を継続できるよう、医療機関や他職種と連携し援助します。	① 利用者の状態を把握し、他職種と情報共有を行います。(随時) ② 内部研修会を実施します。(6月、10月、随時)(認知症、感染症、褥瘡、医療的ケア、看取り、BCP、口腔ケア) ③ 新人研修会を実施します。(随時) ④ 特定行為業務の実施・指導を行います。(随時) ⑤ 看取り対応を行います。 嘱託医と随時治療方針、状態確認して対応します。 ⑥ アルブミン検査結果(定期健診、随時血液検査)を確認評価して低栄養の予防を図ります。 ⑦ 感染症の発生対応時の強化を図ります。 ・外部研修に参加し情報収集 情報交換を行います。 ・感染症対策委員会の開催、感染症マニュアルの見直しを行います。 ・感染症研修の実施・訓練(シミュレーション)を実施します。(手洗い確認 PPE 着脱 嘔吐処理ゾーニングによる感染区域対応) ⑧ 褥瘡対策はLIFEを活用して、経過把握します。(4月、7月、10月、1月、随時) ⑨ 定期歯科健診の実施と結果指導を受け、口腔衛生管理にLIFEを活用して口腔機能維持を図ります。	継 続 強 化 継 続 継 続 強 化 継 続 強 化 継 続 強 化
【すみれ荘】 多様な疾患を持つ利用者が、快適で安心安全な生活を継続できるよう、また災害時や感染症発生時に業務継続計画(BCP)に基づいて医療機関や他職種と連携し医療的援助します。	① 利用者の状態を把握し、他職種と情報の共有を行います。(随時) ② 新人研修会を開催します。(随時) ③ 口腔ケア研修会を開催します。 ④ 内部研修会を開催します。 ・利用者の疾患及び状態について ・認知症ケア、褥瘡、看取り、口腔ケアについて ・特定医療行為研修会を実施しシミュレーションを行います。 ⑤ 酸素飽和度の測定を行い状態把握します。 ⑥ 入所時健診や定期健診を実施し、アルブミン値を確認評価し低栄養予防を図ります。 ⑦ 褥瘡対策としてアセスメント、評価、計画策定を行います。またLIFEを運用します。(毎月 随時) ⑧ 感染症発生時の対応を強化します。 ・感染症対策委員会に参加し地域の感染症流行や情報共有を行います。 ・感染症マニュアルの見直しを行います。	継 続 継 続 継 続 継 続 継 続 継 続 継 続 強 化

(6) 栄養室

〈事業目標〉		
・利用者の栄養状態の把握に努め、健康に施設生活を継続できるよう支援します。 ・委託業者との連携を図り、利用者のニーズに沿った食事と安全・安心でおいしい食事の提供に努めます。		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
【高砂荘】【すみれ荘】		
1. 他職種との連携を図りながら適正な栄養ケアの提供を行います。	① LIFE を活用し低栄養状態の確認と評価を行います。(毎月) ② 栄養補助食品等の提供により栄養指標の改善を目指します。(随時) ③ 利用者の状態を確認し他職種との情報共有を行います。(随時) ④ 利用者との会話の機会を多く持ち、利用者・家族の意向を反映した栄養計画を作成します。(3か月毎)	継 続 継 続 継 続 継 続
2. 「食の楽しみ」に重点におき、より良い給食を提供するために、食事環境、献立内容を精査し、利用者の状態にあった食事の提供を行います。	① 嗜好調査を実施・分析し献立に反映できるよう委託業者と協議・検討を行います。 ② 行事給食の献立内容や提供方法について、委託業者と調整を行い、利用者に満足してもらえる食事提供を目指します。残食が多い食材については、献立や提供方法について見直しを行い、残食の減少を目指します。(毎月) ③ 委託業者との連携を密にし、食事形態の確認、摂取状態の把握等、食事提供におけるリスク回避を図ります。	継 続 強 化 継 続
3. 利用者の嚥下状態の維持・低下防止を図ります。	① 一人一人に合わせた食事提供と食事環境の提供を行います。 ・利用者に合った食事形態と正しい食事姿勢での提供を目標に食事検討部会で検討し提供の統一を図ります。	新 規
3. HACCP に沿った衛生管理計画に基づき、衛生管理を適切に実施し安全な食事の提供を行います。	① 衛生管理計画書の確認と食品取扱者への周知を徹底します。 ② 給食従事者へ定期的な安全衛生教育（内部研修会）を実施します。	強 化 強 化
【葛葉荘】		
1. 給食提供方法と献立内容を精査し、入所者の状態に合った行事給食、食事提供を行います。	① 個別食事提供表を作成します。(毎月) ② 残食が多い食材については献立や提供方法について見直しを行い、残食の減少を目指します。(毎月) ③ 行事給食や手作りおやつを入所者の状態に合わせて、内容を検討し提供していきます。(随時)	継 続 強 化 継 続
2. 嗜好調査の意見を取り入れ、入所者の要望に応えられるように取り組みます。	① 入所者の希望や意見を聴取し、献立に反映していきます。(随時) ② 行事給食のメニュー内容や毎月のおやつの内容に、入所者の意見を反映していきます。	継 続 強 化

3. 他職種との連携を密にし、入所者の状態把握に努め、健康が維持できるよう支援します。	① 食事摂取状況の把握と栄養状態、嚥下状態の確認を行い、評価及び適正食事形態の検討を行います。(毎月)	強 化
【葛巻デイ】 利用者の摂取状況を把握し、利用者の健康維持・改善を図ります。	① 嗜好調査の実施し、利用者の希望や意見の聞き取りを行い分析します。(10月～1月) ② 利用者の希望や意見が反映できるよう献立内容の検討と個々の食事形態についての確認を委託業者と行います。(随時) ③ 利用者へ食事、栄養についての情報を提供します。(年2回)	継 続 継 続 継 続
【江刈デイ・小屋瀬デイ】 外部提供者と連携し、食に喜びを感じられる食事を提供します。	① 嗜好調査の実施し、利用者の希望や意見の聞き取りを行い分析します。(10月～1月) ② 利用者の希望や意見が反映できるよう献立内容の検討と個々の食事形態についての確認を委託業者と行います。(随時) ③ 利用者へ食事、栄養についての情報を提供します。(年2回)	継 続 継 続 継 続

(7)居宅訪問室

〈事業目標〉		
・利用者の尊厳を保持しながら、心身の状況に応じ適切なサービスを利用することができるよう関係機関との連携を強化し、利用者に寄り添い、丁寧かつ迅速な対応に努めます。 ・職員の資質の向上を図り、多様化するニーズに対応し、利用者の尊厳と自己決定、自立支援の確立を目指します。		
今期の重点目標	実現のため具体的方法	区 分
【事業センター】		
1 医療や関係機関との連携を強化し、利用者の自立支援を図ります。	① 利用者の受診に同席し、医師等に利用者の心身の状況や生活環境等必要な情報提供を行うと共に医師等から利用者に関する必要な情報提供を受けた上で、ケアプランに反映させます。 (通院時情報連携加算)	新 規
	② 入院時から退院に備えて必要な準備を整え、退院後の生活不安を解消するため医療や関係機関と情報共有を行い、安心した生活が継続できるよう支援します。 (入院時情報連携加算/退院・退所時情報連携加算)	強 化
	③ 多様化するニーズに対応したケアマネジメントが行えるよう研修を行うとともに、介護支援専門員連絡会、地域ケア会議等を通じて地域包括ケアシステムの構築に関わり、関係機関、サービス事業所との情報共有、連携強化を図ります。	継 続
2 自然災害や感染症など予期せぬ事態が発生した場合でも、業務継続計画に基づいて、継続的に支援できる体制の構築を図ります。	① 感染症や自然災害によってサービスが中断しないよう業務継続計画の見直しを行い、研修会・訓練(シミュレーション)を実施します。(年2回)	強 化
	② 防災カードの作成を継続し、緊急時の連絡や危険個所の把握等を行い、緊急時支援に活かします。	継 続
3 介護支援専門員の資質・向上を図り、質の高いケアマネジメント支援を図ります。	① 事業所内外の研修に参加し知識・技術の習得を図り、ケアマネジメントに活かします。 ・事例検討会、敬仁会居宅支援事業所との合同連絡会を実施します。 (事例検討会：事業所内(年5回)・他事業所合同(年2回))	継 続
【支援センター】		
1 地域包括ケアシステムの基本的な共通認識を持ち、関係機関との連携により支援活動に取り組みます。	① 支援センターの相談から個別課題を捉え、包括支援センターにつなげ、地域で安心した生活が継続できるよう関係機関と連携強化を図ります。	継 続
	② 地域課題に対する情報提供を行います。	継 続
2 介護予防事業を通じて地域の皆さんに交流の機会、健康状態維持のための場を提供し、健康長寿を支えます。	① 集いの場作りをサポートし、生活情報、健康情報を提供し、健康維持に繋がります。	継 続